

御 嶽 山

概況(平成16年2月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

地震活動、噴煙活動、地殻変動に異常な変化はありませんでした。

地震活動の状況

火山性地震の発生状況は、静穏な状態が続きました。

1日あたりの地震回数は、1~10回で推移しましたが、そのほとんどが御嶽山の北東から南にかけて存在する1984年長野県西部地震(マグニチュード6.8)の余震域の活動であり、中には御嶽山の周辺地域で震度1以上を観測する地震も時折発生しましたが、これらの地震は火山活動との直接の関連はないと考えられます。火山性微動は観測されませんでした。(表1、図1)

表1 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
	1	3	5	9	10	6	2	5	1	10	52	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
	4	9	5	4	3	8	3	2	3	3	44	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日		旬計	月計
	8	2	3	3	4	2	4	4	3		33	129

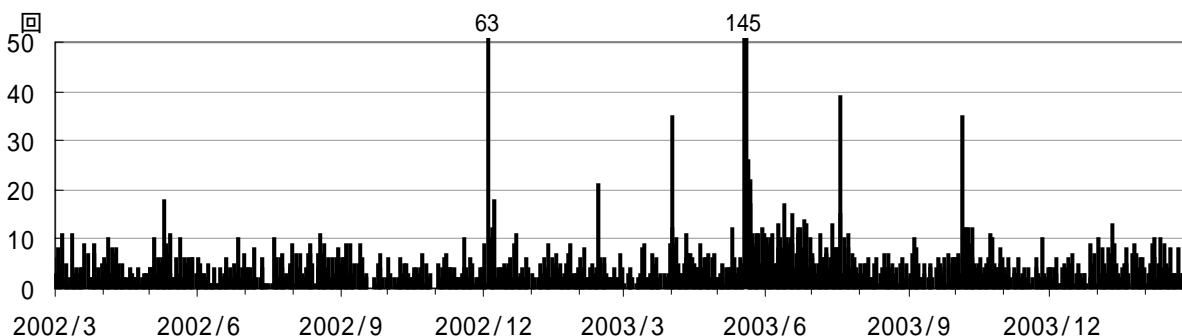


図1 御嶽山 火山性地震日別回数 (2002年3月1日~2004年2月29日)

噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴気は観測されませんでした。

地殻変動の状況

山麓で実施しているGPS連続観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした(図2)。

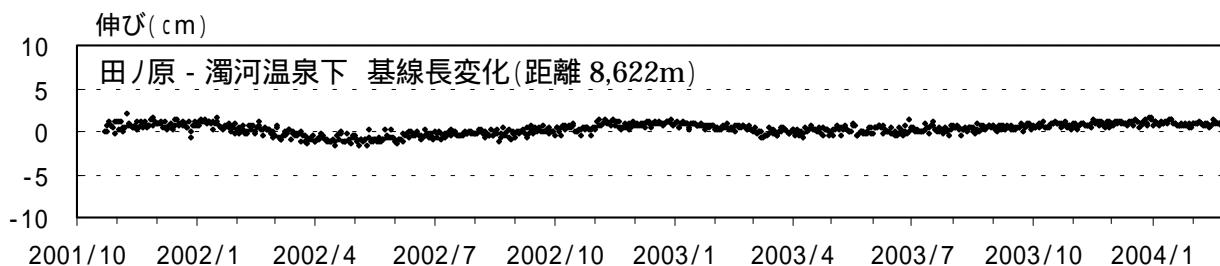


図2 御嶽山 GPS観測結果(2001年10月23日~2004年2月29日)